

町立病院からのお知らせ

マイコプラズマ肺炎

今年はマイコプラズマ肺炎が過去最悪の水準で流行しています。厚生労働省によると、週単位の患者数は6月下旬以降、過去最多の水準で推移し、11月中旬までの累計患者数は1万2675人に上るということです。

マイコプラズマ肺炎は、細菌の一種であるマイコプラズマによって起こる肺炎です。このマイコプラズマは、普通の細菌にある細胞壁がありません。そのため細胞壁を壊すタイプの抗生剤が効きません。

マイコプラズマ肺炎は、発症した人の咳で飛散した飛沫を吸いこむことで感染が広がります。そのため、広い地域ではなく狭い集団や地域で流行するのが特徴です。以前は4年に一度、オリンピックの年に流行するため「オリンピック肺炎」と呼ばれていたこともありましたが、最近では毎年患者がみられており、特に秋から春の初めくらいに流行のピークを迎えます。5歳頃から10～30代の若い人に多く、保育園や幼稚園、学校、家庭などの閉鎖環境で感染します。感染してから2～3週間の潜伏期間の後発症します。

症状は、38℃以上の高熱、痰を伴わない乾いた咳が続くというのが特徴です。咳は発作性的のように夜間や早朝に強くなる傾向があります。しかし、肺炎球菌などの肺炎に比べ、症状の割には全身状態は良く、別名「歩いていられる肺炎（寝込まないですむ肺炎）」とも言われます。激しい咳が長期間にわたって続くため、胸や背中に痛みが出ることもあります。自然に治ることも多いのですが、まれに、髄膜炎や心筋炎などの重篤な合併症を引き起こす場合があります。

診断は、咽頭ぬぐい液を培養してマイコプラズマを検出したり、血液検査でマイコプラズマ抗体の値を調べると確実なのですが、結果が判るまで通常1～4週間かかります。そのため、周辺地域での流行状況や年齢、頑固に続く乾いた咳等の症状、胸部レントゲン検査などで診断します。

治療には、一般的な細菌感染に用いるペニシリン系やセフェム系の抗生物質は効かないことが多いので、マクロライド系、テトラサイクリン系の抗生物質を用います。

健康寿命を延ばしましょう！



Q.健康寿命ってナニ？

A.日常的に介護を必要としないで、健康で自立した生活ができる期間のことです。



健康寿命を延ばすには？



運動…毎日10分の運動習慣で健康寿命を延ばしましょう！

食生活…毎日の食事にあとプラス100gの野菜を食べることで健康寿命を延ばしましょう！

禁煙…タバコは健康を損なうだけでなく、若さを失うことにも繋がります。タバコをやめて健康寿命を延ばしましょう！

毎日のちょっとした心がけで生活を見直しましょう。
それが「健康寿命」を延ばす第一歩です！

問い合わせ先

本庁 税務住民課 国保年金係 ☎0968・86・5723

総合支所 住民課 住民生活係 ☎0968・34・3111（内線752）